

# 幼児の教育 第一〇九卷(平成二十二年) 総目録

佐久間亜紀

## ◇第一号

卷頭言 「子どもの発見」に込めた思い

堀尾輝久

特集 いま、倉橋と出会う<sup>1</sup> 「ころもち」

「ころもち」に近づくために 浜口順子

「ころもち」その人の、その時

語り手 津守 真・津守房江

「ころもち」にふれて応える

嶺村法子

保育の創意工夫<sup>1</sup>

ツブキ先生の虫のつぶやき<sup>(4)</sup>

幼稚園の源流を求める旅<sup>(1)</sup>

ひととき<sup>(3)</sup>

わたしのお気に入り

一緒につくる

『幼児の教育』 ネット公開に寄せて<sup>(13)</sup>

戦時下の『幼児の教育』

あの町この街

雪国の幼稚園から

保育の現場から

肥田野 豊

音を刻む・思いを刻む

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み<sup>(37)</sup> 「クラーゲス輪読

会」が与えてくれたもの 佐治 恵

## ◇第二号

卷頭言 保育者に求められる新しい役割

藤永 保

倉橋特集2 「まめやかさ」

うれしい保育者

「まめやかさ」に徹する保育者の仕事

矢萩恭子

「まめやかさ」——人として人に応える

語り手 津守 真・津守房江

見えているもの

保育の創意工夫<sup>2</sup>

保育の場で子どもの発達を支える<sup>(1)</sup>

障碍をもつ子どもの育ち 大村禮子

教育学者のあたふた子育て・親育ち<sup>(1)</sup>

母として保育者の専門性を考える<sup>(1)</sup>

辰巳 豊

前原 寛

前原 寛

大村禮子

大村禮子

『幼児の教育』 ネット公開によせて<sup>(14)</sup>  
「日記」をキーワードとして 藤枝充子  
保育の現場から

小さな園の歩みから

「幼・保・大」連携<sup>(38)</sup> 保育学会自主シ

ンポジウムを振り返って<sup>(1)</sup> 菊地知子

## ◇第三号

卷頭言 自己物語の始まり 田中智志

倉橋特集3 「子どもたちを送る日」

贈る笑顔

子どもたちを送る日、それは保育を

振り返る日

「子どもたちを送る日」から

——保育のはかなさ 語り手 鈴木とく

ミュンヘン公立キンダーガルテンの

めざす保育

保育の創意工夫<sup>3</sup>

幼稚園の源流を求める旅<sup>(2)</sup>

教育学者のあたふた子育て・親育ち<sup>(2)</sup>

母として保育者の専門性を考える<sup>(2)</sup>

佐久間亜紀

『幼児の教育』 ネット公開に寄せて<sup>(15)</sup>

前原 寛

前原 寛

前原 寛

前原 寛

前原 寛

先人たちからの贈り物 楠 瑞希子

保育の現場から

四歳児の三月に思う

高橋陽子

「幼・保・大」連携(39) 保育学会自主シンポジウムを振り返って(2) 菊地知子

「幼・保・大」連携(40) 前野當子・谷本恭子

「幼・保・大」連携(40) 幼保の連携に向けて

塩崎美穂

◇第四号

巻頭言 子どもたちの社会性と保育者の

専門性

汐見稔幸

倉橋特集4 「生活を生活で生活へ」

「さながらの生活」から始めることが

幼児教育の原点

上垣内伸子

さながらの生活と教育

語り手 堀合文字

体験が積み重なる生活

青山昌子

園のくらしを育む1

秋田喜代美

絵本で子離れ(1)

「でも、こうなの」

松井るり子

保育の創意工夫4

前原 寛

発達心理学者の子育て奮戦記(10)

赤ちゃん、お姉ちゃん、そしてお母さん

長田瑞恵

「幼児の教育」ネット公開に寄せて(16)

時空を超えて 北野幸子

ひととき(4) 子どもたちの心に小さな種

(まめ)を まめの木プロジェクト

保育の現場から 保育の中の親支援

前野當子・谷本恭子

「幼・保・大」連携(40)

幼保の連携に向けて

塩崎美穂

◇第五号

巻頭言 経験と思考

倉橋特集5 「驚く心」

鳥光美緒子

「驚く心」という保育の思想

言葉のゆかいさ、おもしろさ

塩崎美穂

言葉のゆかいさ、おもしろさ

若月和子

倉橋惣三先生の思い出

語り手 村田修子

保育の創意工夫5

前原 寛

保育の中の静かな時間

西 隆太郎

園のくらしを育む2

秋田喜代美

幼稚園の源流を求める旅(3)

「死んでいい」の遊びをめぐる

清水 哲

「幼児の教育」ネット公開に寄せて(17)

「幼児の教育」ネット散策の雑感 阿部真美子

保育の現場から

A夫の葛藤と変化

上坂元絵里

「幼・保・大」連携(41) 学内シンポジウムを振り返って(1)

佐治由美子

◇第六号

巻頭言 築山づくり

倉橋特集6 「何にもしない」

白井嘉尚

「何にもしない」―廊下で―より―

江波諄子

人をないがしろにしない、

保育という思想 菊地知子

追想 倉橋先生と坂元先生 林 健造

園のくらしを育む3 秋田喜代美

保育園と児童館の一体運営から見えてき

たもの 石井 雅

保育の創意工夫6 前原 寛

発達心理学者の子育て奮戦記(11)

それぞれの育ち 長田瑞恵

幼稚園の源流を求める旅(4) 国吉 栄

保育の現場から 友だちをみつけよう

みんなで大きくならう 山田智子

「幼・保・大」連携(42) 学内シンポジウムを振り返って(2)

佐治由美子

◇第七号

巻頭言 子どもと大人の「共生」を考える

根ヶ山光一

倉橋特集7 「うっかりしている時」

実践の中で味わう

榎田正子

「うっかりしている時」から教わった

幼児教育の魅力 杉原 徹

「うっかりしている時」と

チャンスの訪れ

石塚美穂子

保育の創意工夫7

前原 寛

幼稚園の源流を求める旅(5)

国吉 栄

園のくらしを育む4

秋田喜代美

絵本で子連れ(2)

脱皮と追い風

松井るり子

『豊田美雄と草創期の幼稚園教育』の

出版まで

前村 晃

保育の現場から

居場所になるということ

伊集院理子

アフリカの学力調査からわかること

佐々木真千子

「幼・保・大」連携(43)

日常性から保育

カリキュラムを考える(1)

宮里暁美

◇第八号

巻頭言 世紀転換期における日本と

ロシアの保育界

村知稔三

特集 倉橋から子どもたちへの伝言

思い出を越えて

コピソン珠子

届けられたメッセージ

松井とし

園のくらしを育む5

秋田喜代美

保育の場で子どもの発達を支える(2)

共に歩む

大村禮子

保育の創意工夫8

前原 寛

緑蔭図書紹介

保育の原点を案内する一冊

宮下美智代

関係的存在といわれる人間への

まなざし

西脇三葉

幼稚園の源流を求める旅(6)

国吉 栄

仕事の現場から「心理相談員って

知っていますか？」

佐野恵子

保育の現場から 未就園児クラスの保育

で思うこと

河野道子

「幼・保・大」連携(44)

日常性から保育

カリキュラムを考える(2)

私市和子

◇第九号

巻頭言 生きる力の根が養われる

「最初の三年間」

今井和子

倉橋特集8 「いきいきしさ」

「子どもの友」への苦言 首藤美香子

「あしたも、みんなで 遊ぼうね」

安達敬子

娘との生活で取り戻した「いきいきし

さ」

川辺尚子

「いきいきしさ」を保育体験から考える

佐治由美子

保育の創意工夫9

前原 寛

「死んでいい」という遊びをめぐる考察

目羅 藍

園のくらしを育む6

秋田喜代美

幼稚園の源流を求める旅(7)

国吉 栄

発達心理学者の子育て奮戦記(12)

広がる世界

長田瑞恵

保育の現場から

みんな一所懸命に生きている 吉岡晶子

『幼児の教育』ネット公開に寄せて(18)

半世紀前の記事を読んで

児玉理紗・金子未希

「幼・保・大」連携(45) 「幼保プロジェクト」の成果と今後(1) 浜口順子

「幼・保・大」連携(46) 「幼保プロジェクト」の成果と今後(2) 浜口順子

子どもの中の自然 依田敬子  
「幼・保・大」連携(46) 「幼保プロジェクト」の成果と今後(2) 浜口順子

◇第十号

巻頭言 子どもの心に美しい糸を織り込む

荒井 洌

倉橋特集9 「さながら」

水の流るるがごとく、

風のゆくがごとく

魂のすがたとしての「さながら」 佐治由美子

青柳 宏

子どもたちの育ちの力を信じて

高坂悦子

「さながら」という言葉をめぐる

井上知香

園のくらしを育む7

秋田喜代美

絵本で子連れ(3)

松井るり子

私より幸せになれ

前原 寛

保育の創意工夫10

国吉 栄

幼稚園の源流を求める旅(8)

国吉 栄

教育学者のあたふた子育て・親育ち(3) 子どもをもたない保育者の専門性とは 佐久間亜紀

保育の現場から 自然の中の子ども

◇第十一号

巻頭言 保育実践の質の向上のために 勅使千鶴

倉橋特集10 「子どもの心のはだ」 触れ合いの奥で 土屋とく

「子どもの中の心のはだ」によせて 下山田裕彦

心の覆い—命を育むもの 白井貴之

肌が触れて感じる温かさ 山下紗織

倉橋惣三と私(1) 語り手 森上史朗

教育学者のあたふた子育て・親育ち(4) 子どもをもたない保育者の専門性とは 佐久間亜紀

保育の創意工夫11 前原 寛

幼稚園の源流を求める旅(9) 国吉 栄

園のくらしを育む8 秋田喜代美

「幼児の教育」 ネット公開に寄せて(19) コンテンツを通じて見る「母」の 〈名〉とメッセージ 秋山麻実

保育の現場から

イチヨウの葉っぱの枕やさん 佐藤寛子

◇第十二号

巻頭言 「幼児の教育II保育」と考える 神田伸生

ことの意義について 小山祥子

特集 第63回日本保育学会から 言葉を育む「おはなし」の現状と課題

現代の子どもの生活技術に関する 調査研究Ⅺ 高橋弥生・谷田貝公昭

「みんなの中の私」が表出されるまで 山崎徳子

昭和初期の山梨県進徳幼稚園における 「系統的保育案」の受容 小山みずえ

「気になる子ども」の保護者に対する 保育者の連絡方法と内容 大越和美

幼稚園の源流を求める旅(10) 国吉 栄

保育の創意工夫12 前原 寛

倉橋惣三と私(2) 語り手 森上史朗

園のくらしを育む9 秋田喜代美

保育の現場から 保育者の模索を支える 佐木彩水

幼児の教育 第一〇九卷(平成二十二年)

総目録